



翠清会梶川病院

# 翠清会ニュース

医療法人  
翠清会



日本医療機能  
評価機構認定施設

2023  
No.230

職員撮影 風景／世羅高原農場

今  
号  
の  
内  
容

- 御挨拶
- 脳梗塞に対する血栓回収療法について
- 第12回 翠清会梶川病院主催 オンライン公開講演会での講演内容のご紹介
- 新入職員を迎えました。
- 退任の挨拶
- 新任医師紹介
- 学術活動(10月～3月)

当院ではWiFi 無料インターネット接続サービスがご利用いただけます。ご希望の方は受付までお問い合わせください。



## 御挨拶



リハビリテーション科部長・顧問 加世田ゆみ子

2023年4月から翠清会梶川病院に勤務させて頂くこととなりました。

専門は脳卒中等の脳神経疾患のリハビリテーションです。私は九州大学医学部を卒業し、九州大学脳研神経内科に入局致しました。その後、広島大学医学部第3内科（脳神経内科）に入局し、広島大病院での勤務を経て、2003～2007年に翠清会梶川病院に勤務させて頂きました。当時は昭和町に病院があり、梶川博先生、若林伸一先生の御指導により、回復期リハビリテーション病棟と一般病棟で脳卒中患者さんの診療に携わりました。脳卒中急性期から回復期、老健ひばりでの生活期まで多くを学ばせて頂きました。

2008年より広島市立リハビリテーション病院で副院長・院長として勤務し、主に脳神経疾患のリハビリ医療に携わって参りました。

この度、若林伸一理事長の御高配により、再び翠清会梶川病院に勤務させて頂くことに感謝しております。医療・介護を取り巻く環境は急速に変化しています。その中で、翠清会は「Patient First 患者さん第一」「Client First 利用者さん第一」の理念に基づき、脳卒中急性期～回復期～生活期での切れ目のないリハビリを提供しております。微力ながらお役に立てるよう努力して参ります。

何卒、よろしく御指導、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

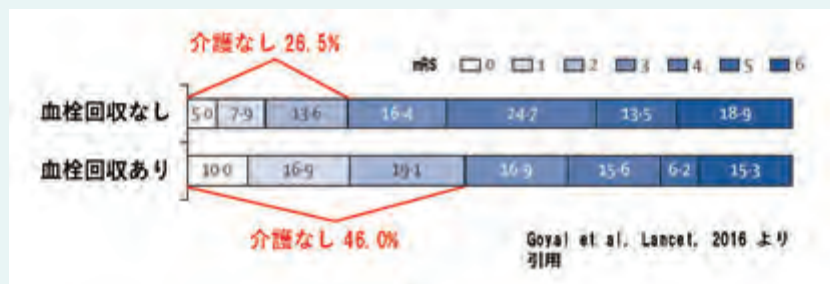
# 脳梗塞に対する血栓回収療法について

脳神経外科医長 蛭子裕輔

脳梗塞とは、脳血管がつまったり血流が低下することで起きる病気であり、突然発症してそのまま半身不随の後遺症がのこったり・・・ということも少なくありません。

脳梗塞が起きたばかりのときの治療法としては、大きく2つあります。一つは内科的治療(薬による治療)であり、もう一つはカテーテル治療(血栓回収療法)です。内科的治療は主に抗血栓薬(血液サラサラの薬)を使いますが、太い血管がつまっているときは、抗血栓薬だけで再開通することは少ないです。そこで、太い血管がつまっているときに物理的に血栓を取り除いて再開通させる治療法が血栓回収療法です。具体的には、カテーテルで直接血栓を吸引したり、ステントというもので血栓を捕捉して絡めとったりします。この方法により、8割以上の方で血管の再開通が得られます。

血栓回収療法は近年目覚ましい進歩をとげている治療法であり、この治療により、下表のように、「介護が必要ない方」の割合が明らかに増えました。ただし、すべての脳梗塞の患者さんで血栓回収療法の適応があるわけではありません。



一つ目は、細い血管がつまって脳梗塞を起こした場合です。直径1mm以下のような細い血管の場合はカテーテルでの操作は難しく、適応外となります。二つ目は、発症してから時間がたっている脳梗塞の場合です。具体的には、発症後24時間以上たっている場合は適応外となります。脳梗塞の治療は発症してからの時間が勝負であり、時間がたってから再開通したとしても、脳梗塞は完成してしまっており、手遅れということになります。そのため、発症24時間以内であっても、脳梗塞が完成してしまっている場合には血栓回収療法の適応外となることもあります。

血栓回収療法は、カテーテルの改良などにより今後さらに進歩することは確実であり、すでに最近「中くらいの太さの血管」まで治療できるようになってきています。ただ、発症からの時間が重要であることは今後も変わらないと考えられますので、手足の麻痺や言語障害などの症状が出たときは、「できるだけ早く」受診していただきますようお願い申し上げます。

# オンライン公開講演会での講演内容のご紹介

リハビリ部士長 岡田和紀

この度、『脳トレ』『脳トレ体操』と題して講演させていただきましたので、ご報告させていただきます。

テレビやゲームなどでお馴染みとなり十数年が経っていますが、どの程度効果があるものなのでしょうか？2019年の老年精神医学会の学術誌にて、パズルに定期的に取り組んでいる人ほど、注意力・推論力・記憶力を評価するタスクが優れていたと報告されました。取り組んでいない人に比べ、平均して8歳若い脳機能を持っているとのことでした。(Anne Corbett,2019)

この度の内容では、脳神経疾患専門病院ということで『脳トレ』<sup>1)</sup>は脳機能別のトレーニングを考えました。『脳トレ体操』<sup>2)</sup>は、実際の体操動画を配信しました。事前撮影で行い撮り直しや編集ができましたが、生中継となると私も失敗したと思います(笑)。

一方、効果に焦点を当てますと、頭で考える工程が重要となりますので、脳のトレーニングという方法は、無限にあるのではないかと思います。

つまりは、興味のあることを楽しんで続けることが大切です。ただし、少し考える作業が必要な難易度を心がけてください。

是非、これを機会に脳の若返りを図りましょう。

【参考文献】

1)内野勝行.“認知症予防Dr.脳トレ”<https://dr-noutore.jp/>(2022年12月1日閲覧)

2)小林法一.“頭の体操 大人の脳トレプログラム全編

”<https://www.youtube.com/watch?v=fC1T0zMkY-A> (2022年11月11日閲覧)

【実際の配信動画内容:YouTube】

URL: <https://youtu.be/5tq5ZQZ0Bic>

QRコード:



# 新入職員を迎えました

令和5年4月3日に入社式を行い、医師5名、看護師7名、作業療法士1名の計13名が入職いたしました。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



## 退任の挨拶



2023年3月末で翠清会梶川病院を退職し、他院へ異動いたしました。2008年4月から丸15年勤務させていただき、脳神経内科医として濃密なかげがえのない経験をすることができました。患者さん、他の医療機関や施設の方々、多職種スタッフの皆さんには教わる事が多く助けていただきました。深謝申し上げます。これまでの経験を今後の糧にして新任の地で従事していきたいと存じます。最後になりますが、皆さまのご健康を祈念いたします。

脳神経内科部長 今村栄次

3月で退任させていただくことになりました。この2年間で脳神経外科、脳神経内科のそれぞれの先生からたくさんを学ばせていただき、診療に従事することができました。広島市の脳卒中診療の中核を担っております当院で勤務させていただいた経験は大変貴重なものでした。次の赴任先でも当院で培った知識と経験を活かして精進して参ります。2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

脳神経内科医長 志賀裕二

この度2023年3月末で翠清会梶川病院を退職することになりました。1年半という短い間でしたが脳卒中を中心に診療に携わせていただき、多くのことを学ばせていただきました。4月より東京の病院に移りますが梶川病院での経験を活かし診療に当たる所存です。末筆ながら皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

脳神経外科 若林 光



## 新任医師紹介



4月より脳神経内科で勤務させていただきます上村鉄兵と申します。2019年4月から2020年3月まで翠清会梶川病院で勤務させていただきました。3年ぶりに復帰させていただきますことを嬉しく思っております。広島の脳卒中診療に貢献できるよう日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

脳神経内科医長 上村鉄兵

4月より脳神経内科で勤務させていただきます儀賀麻由実と申します。3月までは広島市民病院に勤務しておりました。脳卒中の中核を担う翠清会梶川病院で働けることを嬉しく思います。脳神経内科医として広島の医療に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

脳神経内科医長 儀賀麻由実

4月より脳神経内科に勤務させていただきます松山稜太郎と申します。これまでは大学病院や他の市中病院で広く神経疾患の患者さんに携わっておりました。翠清会梶川病院では脳卒中を中心に薬物治療のみならず、生活習慣や社会生活も含め包括的に皆さんのお力になれるよう頑張ります。これからどうぞよろしくお願いいたします。

脳神経内科 松山稜太郎

はじめまして、この度病院に入職した医師7年目の山岡寛人と申します。専門技術を磨き、患者様に最高の医療を提供できるよう、努力して参ります。また、スタッフの皆様と協力し、円滑な診療に貢献していきます。広島には初めて来ましたが、これを機に広島の良い所をたくさん知ればと思います。よろしくお願いいたします。

脳神経外科医長 山岡寛人

## 学術活動 10月~3月

- 2022年10月22日~10月23日 第55回中四国支部医学校査学会 症例カンファレンス みんなで考える症例検討会 共創「この症例なんじゃろう?」 臨床検査部 福田雅子
- 2022年10月28日 Solitaire de Night 2nd season 当院の血栓回収術 脳神経外科医長 蛭子裕輔
- 2022年11月10日~11月12日 第38回日本脳神経血管内治療学会学術集会 ステント併用コイル塞栓術後評価におけるPETRA-MRAの有用性 脳神経外科医長 蛭子裕輔
- tandem lesionsに対する頸動脈ステント留置直後に進行性のステント内血栓を認めた一例 A case of progressive in-stent thrombosis immediately after carotid artery stenting for tandem lesions 脳神経外科 若林 光
- 2022年11月15日 第267回めいびる技藝 動脈硬化・・・そして聞きたい事 放射線部 佐々木大樹
- 2022年11月22日~11月23日 第25回日本臨床脳神経外科学会 シンポジウム これからの民間中小脳神経外科専門病院 理事長 若林伸一
- ステント併用コイル塞栓術後評価におけるPETRA-MRAの有用性 脳神経外科医長 蛭子裕輔
- 急性期脳卒中患者におけるクリニカルパスの活用方法と不安軽減の関連性 看護部 湊 真帆
- 頭蓋内血管バイパス術の術前シミュレーション画像におけるフュージョン原画の最適化について 放射線部 福森 悠
- 頸動脈ステント留置術後早期の頸動脈エコーで、ステント内プラークが確認された2例 臨床検査部 蔵本希麟

- 2022年11月29日 第4回広島脳血管手術研究会 当院におけるCASPERの使用経験 院長 溝上達也
- 2022年12月5日 第103回広島市東区医師会学術講演会 脳卒中診療の最新線-頸頭部主幹動脈閉塞に対する血栓回収術について- 院長 溝上達也
- 2022年12月11日~2023年1月10日 第2回日本公認心理師学会学術集会 中規模病院の労働安全衛生委員会における「相談窓口」立ち上げについて 臨床検査部 平田明子
- 2022年12月17日 第6回日本安全運転医療学会学術集会 Driving Simulator DS評価で両眼眩下重が偶然判明した1症例 リハビリ部 森松千夏
- 2023年2月19日 第48回広島県病院学会 急性期脳卒中患者の抑うつ状態とFIMとの関連について 看護部 小澤千佳子
- 2023年3月11日~3月12日 第4回TMDU鏡視下手術勉強会 外視鏡手術の経験-従来の顕微鏡手術との相違点を中心に- 脳神経外科 若林 光
- 2023年3月16日~3月18日 STROKE 2023 最終未発症確認時刻から4時間半を超えてt-PAを投与した症例の治療成績 脳神経内科部長 今村栄次
- レムナトコレステロール高値の急性期脳梗塞患者の臨床転帰 脳神経内科医長 下村 怜
- ステント併用コイル塞栓術後評価におけるPETRA-MRAの有用性 脳神経外科医長 蛭子裕輔
- 機械的血栓回収療法を施行した急性期脳梗塞患者の頸部病変についての検討 carotid lesions in patients with acute ischemic stroke treated with mechanical thrombectomy 脳神経外科 若林 光

- Spectra MRI装置におけるPETRA-MRAの美用化と最適化の検討 放射線部 田中伸治
- 高次脳機能障害を含めた脳卒中患者の歩行自立に関連する要因の検討 リハビリ部 福森佳登
- 論著 2022年12月発行 Hospitalist 10巻2号p275~294 抗血栓薬による加齢とリスク因子の管理のエビデンスを中心に 脳神経内科医長 志賀裕二
- 2023年1月発行 日本安全運転医療学会誌 2巻1号p54~59 ドライビングシミュレーター評価で両眼眩下重が偶然判明した1症例 リハビリ部 森松千夏